キャラクター名
八尋　羽稲（やつひろ　はいね）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	神社の跡取り
オプショナル		年齢	21	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪	初期侵食率	35 %
出自	名家の生まれ	経験	死と再生	邂逅	保護者（白巳白羽）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	2			7
社会	0	0	1			1

HP	31
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：神話	2		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
汚穢より出づる魑魅（すだま）	ＲＣ	7r+6		16		侵蝕4/コンセ+黒の鉄槌/攻撃力16/同エンゲージ不可
@100-	ＲＣ	10r+6		18		攻撃力18/同エンゲージ不可
		0				
汚泥より出づる魍魎（みずは）	ＲＣ	17r+6		16		侵蝕4/背徳→コンセ+黒の鉄槌/攻撃力16/同エンゲージ不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
白巳白羽	P　信頼	N　食傷		
シナリオ：宇曽谷 葵	P　疑念	N　恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ウロボロス	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：C値-Lv（下限7）								
原初の青：氷の回廊	1	1+1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：飛行状態で戦闘移動/移動距離+[Lv*2]m								
原初の赤：黒の鉄槌	7	1+1	メジャー	視界	-	RC	-	
効果：「攻撃力:+[Lv*2+2]」の射撃攻撃/同エンゲージ不可								
背徳の理	5	3	オート	至近	自身	-	-	
効果：オーヴァードに1点でもダメージを与えた際に使用/シーン中、ウロボロスを組み合わせた判定ダイス+[Lv*2]個								
レネゲイドアブソーブ	1	3	オート	至近	自身	-	-	
効果：エフェクトを使用した攻撃により自分が1点でもダメージを受けた直後に使用/取得している「あなたがオーヴァードに1点でもダメージを受けた際に使用する」エフェクトを1つ使用できる/1シーン1回								
原初の黒：オーバードーズ	1	4+2	メジャー/リアクション	-	-	シンドローム	100↑	
効果：組み合わせたエフェクト全てのLvを+2/Lvの上限を超えてもよい/この効果でエフェクトの使用回数は増加しない/シナリオLv回								
まだらの紐	★	1	メジャー	視界	-	効果参照	-	
効果：影に知覚能力を持たせる/もしこの能力で隠れている者を見つける場合、<知覚>による判定を行う								
禁じられし業	1	3	オート	視界	単体	自動成功	-	
効果：対象がイージーエフェクトを使用した直後に宣言/対象が使用したエフェクトの効果を打ち消す。打ち消したエフェクトの達成値が必要な場合、0とする/1シナリオLv回								
闇夜の烏	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果：自らの姿を影の中に溶けさせることで、影の中を自由に動き回る/必要に応じて<知覚>判定								
衝動看破	1	1	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果：接触した相手のレネゲイドウイルスを吸収し、その衝動を看破する/対象の<RC>判定と対決を行い、成功することで対象の衝動を知ることができる/シナリオLv回								
効果：								
効果：								
効果：								

白巳（はくみ）神社の跡取り。
気弱で勇気がなく、新しいことに挑戦するのを何かと嫌がり、神社の後を継ぐことも嫌がっている。

白巳神社の由来は、白蛇石という天然の石。
神社の神様だと言われているアルビノの白蛇「白巳（はくみ）」と幼い頃から仲が良く、一緒に遊んだり脱皮した皮を贈られたりしていた。
ある時、「白羽（しらは）」という名前をつけたところ、白羽は何故か人間の姿になれるようになってしまった。なんで？

（ＰＣ３）に助けられてからはＵＧＮの一般職員として働くことになった。
よく分からないことが沢山あって怖いが、前線に出るようなことが無くて良かったと思っている。
（白羽が喋って人の姿を取れるようになった時点でよく分からないのだが、それについては馴染みすぎていてあまり違和感を覚えていない）
（ＰＣ３）に対しても助けてくれたことに感謝している。
これなら神社も継がなくていいと安心したとか、していないとか……

当然のごとく白羽も一緒にＵＧＮへついてきており、その存在は心の支えとなっている。
白羽と一緒にいるためにポケットつきの服を着ていることが多い。

…という体たらくだったが、オーヴァードとして色んな苦労をしてきたため、性根の弱さは多少マシになった。